

施策事業進捗状況確認表【資料2】

※評価：A：計画通り順調に進んでいる、B：計画にやや遅れが出ているが、進んでいる、
C：計画に大きく遅れが出ているが、進んでいる、D：未実施、全く進んでいない

施策事業進捗状況調査

基本方針	No.	事務事業の概要	担当課	取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組事項または取組む予定の事項
				取組手法	その他の手法					
1. 温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます	1	省エネルギー設備設置助成事業の実施	省エネ機器の新規設置または取替えを行った場合にその一部を助成し、市域で排出される温室効果ガスを削減することにより地球温暖化の防止を図る。	環境保全課	補助	令和元年度・2年度とも、家庭用LED照明器具購入・工事半額助成を実施した。令和元年度は家庭等の蛍光灯からLEDへの交換で杉の木換算約1,686本の削減を達成した。令和2年度も市民からの好評を得た結果、申請受付開始後1ヵ月程で予算上限に達し、受付を終了した。	A	継続	令和2年度の受付は終了したため、本年度の蛍光灯からLEDへの交換による杉の木換算の効果を検証し、令和3年度以降の助成制度の見直しを図る。	◎
	2	公共施設での省エネルギー機器等の導入	公共施設での改修工事等において、省エネルギー機器の導入を行う。また、太陽光発電システム等再生可能エネルギーの導入を図る。	建築営繕課	整備事業	中原小学校建替工事において、トッランナー変圧器・LED照明器具を設置した。また、太陽光発電設備11kWを設置した。	A	継続	中原小学校建替工事において、倉庫にLED照明器具を設置する。	
	3	街路灯のLED化事業の実施	ESCO事業を活用した街路灯のLED化により、環境負荷の低減及び光熱費等の効果的な削減を図る。	道路管理課	維持管理	市民要望や夜間パトロールなどにより必要と思われる箇所に街路灯の新設、灯具の交換による照度アップをしている。	A	継続	引き続き街路灯のLED化を進める。	
	4	環境マネジメントシステムの運用	事業所としての西東京市において、環境マネジメントシステムの適切な運用を行い、事務事業による環境への負荷低減と良好な環境の保全を目指す。	環境保全課	仕組みづくり	令和元年度は全課に対し環境目標の設定、前年度の環境目標の達成状況等の調査を行い、全職員に環境に関する「ラーニング研修」、設備更新部署を対象に内部環境監査等を行った。	A	継続	引き続き、「ラーニング研修」や内部環境監査を実施する。	◎
	5	西東京市役所の温室効果ガス排出量の公表	「西東京市環境白書」を発行し、事業所としての西東京市役所の温室効果ガス排出量等の公表を行う。	環境保全課	維持管理	令和2年2月に、平成30年度版「西東京市環境白書・環境活動レポート」を発行し、市役所の温室効果ガス排出量の公表や各部署の環境保全の取組の紹介を行った。	A	継続	引き続き、令和元年度版「環境白書・環境活動レポート」を作成する。	◎
	6	グリーンカーテン・屋上緑化の実施	市の公共施設において、つる性植物によるグリーンカーテン及び屋上緑化を実施し、建物の温度上昇を抑え、省エネルギーを推進する。	総務課	整備事業	仮庁舎整備事業において、田無第二庁舎屋上に、低木による屋上緑化を行った。また、田無第二庁舎東側壁に壁面緑化を実施した。	A	継続	田無第二庁舎の屋上緑化・壁面緑化の維持管理を行う。	◎
				障害福祉課	維持管理	障害者総合福祉センターにおいては、4階テラスを屋上緑化している。	A	継続	障害者総合福祉センターにおいて、引き続き屋上緑化を維持する。	
				保育課	維持管理	各保育園において、緑のカーテンによる緑化を実施している。	B	継続	上半期は新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休園等で対応が難しい部分もあったが、今後、保育の中で緑のカーテン等の緑化を行って行く。	
				児童青少年課	普及・啓発	児童館・学童クラブにて、みどりのカーテンを設置した施設があった。	A	継続	児童館・学童クラブにて、みどりのカーテンを設置する。	
				文化振興課	維持管理	コール田無屋上防水改修工事の際、改修前と同様に樹木の植え込みを実施した。	A	継続	引き続きコール田無屋上の樹木の管理維持を実施する。	
スポーツ振興課				維持管理	市内スポーツ施設壁面にゴーヤ等によるグリーンカーテンを実施している。	A	継続	新たに設置可能な施設の検討を行う。		
協働コミュニティ課				維持管理	<消費者センター分館> 3階屋外部分に植栽の維持管理をしている。	A	継続	適切な維持管理を継続する。		
環境保全課				維持管理	エコプラザ西東京において、リュウキュウアサガオのグリーンカーテン及び屋上緑化の剪定などの維持管理を行った。	A	継続	引き続き、グリーンカーテンや屋上緑化の定期的な維持管理を行う。		
教育企画課	維持管理	冷房負荷の低減を図り、児童・生徒の自然環境への関心を高めるため、小学校18校、中学校3校において、緑のカーテンを実施した。	A	継続	建物の温度上昇を抑え、省エネルギーを推進するため、中原小学校建替工事において、屋上緑化を実施する。引き続き、令和3年度以降も緑のカーテンを実施する。	◎				
7	校庭の芝生化事業の実施	小学校において校庭を芝生化し、緑豊かな潤いのある空間をつくることで児童の自然環境への関心を高める。また、校庭利用団体の協力を得て共に芝生の整備を行う。	教育企画課	維持管理	校庭全面（小学校5校）、校庭一部（小学校2校）において、児童の自然環境の学習や、保護者・地域住民・校庭利用団体の協力を得て、芝刈り・除草等を行った。また、専門業者に委託して、点検・更新作業を行った。	A	継続	引き続き、維持管理を行い、芝生を良好な状態にする。	◎	
2. 自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます	8	下保谷四丁目特別緑地保存・活用事業の実施	市民と協働で下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全を図るとともに、この地域の成立、歴史、文化等を含めた屋敷林の役割の調査や活用について検討を行う。	みどり公園課	計画策定	下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用に向けた検討・取組を行った。	A	継続	下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用に向けた検討・取組を行う。	
	9	計画的な公園施設配置・機能の整備に向けた取組	公園を取り巻く状況の変化や市民ニーズの多様化を踏まえ、公園配置計画に基づき、公園緑地の整備、拡充を計画的かつ効果的に推進する。	みどり公園課	計画策定	・文理台公園の施設整備に関する検討 ・都立東伏見公園の機能充実に向けた対応（東京都要請）	A	継続	・文理台公園の施設整備に関する検討 ・都立東伏見公園の機能充実に向けた対応（東京都要請）	
	10	保存樹木等の指定	「西東京しみどりの保護と育成に関する条例」に基づき、市内に現存する指定樹木等の所有者に対して、その維持管理の一部を助成し、民有地におけるみどりの保護と保全に努める。	みどり公園課	補助	令和元年度実績 保存樹木5本指定	A	継続	申請に基づき、保存樹木の指定、助成を行う。	
	11	効果的な支援による農業経営意欲の促進	都市農業の活性化に向けて、農業を営む環境の整備や消費拡大・農業収入の増加を図る取組の支援を行う。また、農業経営者の育成についての支援や、援農ボランティア制度の活用を推進する。	産業振興課	補助	令和元年度は都市農業活性化支援事業補助金を活用し、JA東京みらい西東京地区農業経営部会3名にパイプハウス等の補助を行った。	A	継続	令和2年度は都市農地保全支援プロジェクト補助金を活用して、6名の農業者に防災兼用井戸、土留め、防葉ネット、市民農園開設等の補助を行う。	
	12	生産緑地地区の指定	良好な都市環境の形成に資することを目的に、現に農業の用に供されている農地等を生産緑地地区として指定し、都市計画に定める。	都市計画課	普及・啓発	生産緑地の期日を延期する特定生産緑地の指定手続きを開始し、積極的に取り組んでいる。	A	継続	生産緑地の所有者に対し、特定生産緑地の指定をしていただけるよう、案内を継続する。	◎
	13	下野谷遺跡を活用した魅力づくり	下野谷遺跡等の文化財を将来にわたり確実に保護するため、文化財の本質的価値を構成する要素を保存するとともに、文化財を核とした地域活性化や地域連携の取組を推進するなど、保存、活用及び整備を一体的に行う。	社会教育課	その他	普及・啓発 整備事業 学校や地域の商店会と協働で下野谷遺跡でイベントを2回実施した。 下野谷遺跡整備基本設計及び1A期実施設計を行った。1A期工事に着手した。	A	継続	下野谷遺跡1A期整備工事を実施する。下野谷遺跡整備1B期実施設計を行う。	◎
14	地域博物館の整備に向けた検討	文化財を活用したまちづくりを進めるため、文化財の保存・活用の拠点である郷土資料室の機能の充実・向上を進める。	社会教育課	普及・啓発	平成30年度に収集した資料を展示する企画展を1回実施した。 下野谷遺跡をテーマとした総合学習の実施に協力し、成果を特別展示した。	A	継続	企画展を1回実施する。 郷土資料室を活用したイベントを開催する。	◎	

基本方針	No.	事務事業の概要	担当課	施策事業進捗状況調査							
				取組手法の分類		令和元年度・2年度上半期の取組状況	評価	今後の予定 継続、変更、終了	令和2年度下半期以降の取組予定	優先取組事項または取組む予定の事項	
				取組手法	その他の手法						
3. ごみの削減、資源の有効利用を進めます	15	剪定枝・草・落ち葉の資源・堆肥化	家庭からの剪定枝・草・落ち葉を焼却せず、破砕・チップ化し、バイオマス発電所の燃料や家畜の飼料、肥料原料等へのリサイクルを行う。	ごみ減量推進課	普及・啓発		令和元年度は、家庭からの剪定枝・草・落ち葉600tの資源化・堆肥化を実施した。	A	継続	引き続き、剪定枝・草・落ち葉の資源化・堆肥化を実施する。	
	16	小型電子機器の資源化促進	2013(平成25)年4月に使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が施行されたことに伴い、全世帯を対象とした収集資源品目に追加した。国指定事業所が引き取り、資源化を実施する。	ごみ減量推進課	普及・啓発		令和元年度は、小型電子機器248tの再資源化を実施した。	A	継続	引き続き、小型電子機器の再資源化を実施する。	
	17	古紙類の資源化促進	市民から家庭で使用しなくなった紙袋の提供と障害者自立支援に係る雇用により、新聞紙を活用した「ざつがみばっく」を作成し、両庁舎において無料配布を行う。	ごみ減量推進課	普及・啓発		田無・保谷庁舎、エコプラザ西東京にて「ざつがみばっく」の配布を行った。	A	継続	障害者自立支援に係る雇用という位置付けもあるため、作業を継続していく。	
	18	ごみ分別アプリの活用	2013(平成25)度にリリースしたごみ分別アプリを活用して、ごみの減量や排出マナーの向上を目指す。	ごみ減量推進課	普及・啓発		処理施設での火災発生時、台風接近時の資源カゴ対策、新型コロナウイルスへの対応等の迅速な情報提供を実施した。	A	継続	引き続き効果的な情報提供を行うことで活用を図っていく。	
	19	「りさいくる市」の開催	ごみの減量と再利用促進のため、フリーマーケットである「りさいくる市」をエコプラザ西東京等で開催する。	ごみ減量推進課	市民活動支援		事業実施によりごみ減量等を図った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、未実施である。	A	継続	令和2年度は事業休止となっており、安全確保が可能となった時点で事業再開する。	
	20	食品ロスの削減に向けた取組の推進	食品ロスについての教育を推進するとともに、ごみの減量化に向けた啓発活動に取り組む。	ごみ減量推進課	普及・啓発		関係団体が実施したフードドライブに協力するとともに、庁内での市職員のフードドライブを実施した。	A	継続	市主催による市民向けのフードドライブの実施を検討するとともに、市民周知を継続していく。	
4. 安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます	21	公害等対策事業の実施	市内において大気・水質・騒音・振動等の各種測定を行い、環境基準との適合を確認するとともに環境の変化をとらえ、市民の健康の増進を図る。	環境保全課	その他	調査	環境の状況に応じて国や東京都と連携して被害防止に向けた対応及び最新の大気・水等の環境に関する情報を市報やホームページ等で提供した。	A	継続	引き続き、公害問題が発生した際には、東京都との協力及び助言等により、現地に赴き解決を図る。	◎
	22	西東京都市計画道路の整備・検討	都市計画道路を整備することにより、交通アクセスを円滑にするとともに周辺地域の活性化を図る。	道路建設課	整備事業		都市計画道路・西3・4・11号線については、令和2年3月10日に事業認可を取得したことから、早期整備へ向け事業を進めている。	A	継続	引き続き西3・4・11号線の整備事業を進めていく。	◎
	23	良好な景観整備の推進	地域の特性を活かし、自然と都市機能の調和した良好な都市景観形成の誘導を図るため、地区計画等の検討・策定を行う。	都市計画課	計画策定		東京大学生態調和農学機構周辺地区地区計画の変更について検討を始めた。	A	継続	引き続き検討を進めていく。	◎
	24	鉄道の連続立体交差化に向けた取組	東京都が事業主体となる西武新宿線の井荻から西武柳沢駅間における連続立体交差の事業化を推進するとともに、東伏見駅周辺地区まちづくり構想に基づき、駅周辺のまちづくりの検討を行う。	交通課	整備事業		東京都が事業主体となる西武鉄道新宿線の井荻駅から西武柳沢駅間の連続立体交差計画を推進するとともに、東伏見駅周辺地区まちづくり構想に基づき、交通基盤等の整備の検討を行った。	A	継続	引き続き、東京都が事業主体となる西武鉄道新宿線の井荻駅から西武柳沢駅間の連続立体交差計画を推進していく。 (令和2年10月には、都市計画案の説明会を実施)	◎
	25	市道の新設改良事業の実施	歩行者及び通行車両の安全で円滑な通行を確保し、良好な市民生活環境となるよう市道の新設改良工事を実施する。	道路建設課	整備事業		令和元年度は市道118号線で183mの新設改良工事を実施できたが、入札不調により年度内に整備できない路線があった。	B	継続	令和2年度は、令和元年度の整備未実施路線を含め、約2,000mの新設改良工事を予定している。	
	26	はなバスの運行	既存の路線バスではカバーしきれない公共交通空白地域・不便地域の解消を目的として、バス事業者と締結し、はなバスの運行を行う。	交通課	その他	移動支援	既存の路線バスではカバーしきれない公共交通空白地域・不便地域を中心にルートを設定し、市内の公共施設等に向かう交通利便性の地域格差をなくし、高齢者をはじめとした市民の移動の利便性向上を目的として、運行を行っている。	A	継続	はなバスの運行については、公共交通不便地域の解消や市民・利用者の利便性の向上を目指すとともに、効率的な事業の運営を目指し、引き続き中長期的な見直しを行っていく。	◎
	27	自転車を活用したまちづくりの調査・研究	環境にやさしい自転車利用の利便性の向上と推進及び自転車専用道路整備等の調査・研究を行う。	交通課	整備事業		東京都(警視庁)では、平成28～令和元年度に市内の主要な都道において、自転車ナビルートの設置計画を立案し、自転車ナビマーク及びナビラインの設置を進めて来た。この状況を勘案しつつ、本市における設置基準を作成するため、令和2年7月に庁内検討委員会を立ち上げた。	A	継続	庁内検討委員会で調査及び検討を行った後、令和2年度中に設置基準を作成し、市の財政状況等を勘案した上で、令和3年度以降に整備を行う。	◎
	28	駅周辺の自転車駐車場の整備・検討	環境への配慮や健康志向の高まりなどにより、自転車利用者が増加する中、駅周辺の自転車駐車場が不足していることから、新たな自転車駐車場の整備に向けた検討を行う。	交通課	整備事業		駅周辺の自転車駐車場の需要と供給の状況を把握し、新たな自転車駐車場整備のための検討を行ってきたが、昨今新型コロナウイルスの影響を受けた新しい生活様式の定着による需給バランスに変化が見られるため、改めて状況を確認・把握する必要がある。	A	継続	新型コロナウイルスの影響を受けた新しい生活様式の定着等による需給バランスの変化等を踏まえ、改めて状況を確認・把握した上で、新たな自転車駐車場整備の検討を行っていく。	◎
	29	環境美化に向けた取組の推進	道路、公園、広場等において、まちの美観を損なう行為又は第三者に危険を及ぼす可能性のある行為について、その抑制と防止を図り、清掃活動を通じたマナー向上のよびかけなどの啓発活動を実施する。	ごみ減量推進課	普及・啓発		市内各駅で地域住民とキャンペーンを実施し、委託による清掃活動を通じてマナー向上を図った。	A	継続	新型コロナウイルス感染症予防のためにキャンペーンは休止しているが、活動可能であれば継続していく。	
5. 持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます	30	エコプラザ西東京の活用	エコプラザ西東京を環境教育・環境学習の拠点施設と位置付け、環境情報の提供及び各種環境学習講座を実施する。	環境保全課	普及・啓発		エコプラザ西東京で令和元年度に環境講座を39講座実施した他、施設内でチラシなどの配架やパネル・ポスター等の展示により環境情報を提供した。	A	継続	引き続き、エコプラザ西東京での環境講座実施や環境情報の提供について、質・量ともに充実させるよう努める。	◎
	31	環境講座の実施	地域の人材を活用するため地域活動に取り組み、行政との協働にも実績のある講師を招き、地域環境等について学ぶ講座を実施する。	公民館	市民活動支援		各館近接の社会資源(いこいの森公園、住吉農地、下保谷4丁目特別緑地保全地区)を活用して、緑の保全とその意義を考察した。また環境団体と協働で市民企画事業を実施した。	A	継続	農業講座、環境講座を市民団体と協力の下、継続実施していく。	◎
	32	「西東京市の環境」の作成・配付	副読本「西東京市の環境」を作成し、市内小学校4年生に配付する。また、家庭でできる省エネの取組を紹介し、取組の結果を「環境家計簿」としての見える化を促す。	環境保全課	普及・啓発		「西東京市の環境 2020年」を作成し、3月に市立小学校新4年生に配布した。また、夏休みに小学5年生を対象にした「環境家計簿」を実施した。	A	継続	引き続き、「西東京市の環境 2021年」の作成を行い、市立小学校新4年生に配布する。	◎
	33	西原自然公園の植生・管理	西原自然公園において、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で樹林の再生を目的とする更新作業・植生管理を行う。	みどり公園課	維持管理		西原自然公園植生管理委託で樹林更新作業として11本の木を伐採した。例年2月に市民団体と協働して開催しているイベント「山仕事体験会」にて伐採した樹木の一部をイベント参加者に配布した。	A	継続	令和3年2月に「山仕事体験会」を実施予定	
	34	公園ボランティアの活用	市民との協働による「花いっぱい運動」の実施、自然観察会の開催等により、緑化の推進及び啓発を図る。	みどり公園課	市民活動支援		令和元年度実績 48花壇での活動 コミュニティーガーデナー養成講座など4種類の講座を開催	A	継続	令和2年度 50花壇での活動予定 新型コロナウイルスの影響により、講座開催は未定	
	35	みどりの散策マップの充実・活用	市民団体と協働で作成している散策マップについて、定期的にコースの見直しを行い、市内に点在する公園、コミュニティーガーデンや寺社等のネットワーク化により、市内を歩いて楽しめる空間づくりを推進する。	みどり公園課	市民活動支援		令和元年度実績 みどりの散策路巡り 3回実施	A	継続	令和2年度 新型コロナウイルスの影響により、開催なしの予定	
	36	小規模公園・緑地活用と地域管理の推進	小規模公園や緑地を、地域の庭として生活の中にささやかな豊かさや楽しみを生み出すための活動の場を実現できる空間と位置づけ、その活用について、市民協働を前提に事業実施を検討する。	みどり公園課	市民活動支援		令和元年度実績 住吉第四公園でパークマルシェイベント1回実施	A	継続	令和2年度 イベント開催は未定	